

## 環境学習施設等（講座等）事業報告書

種別	認定番号	46	( 平成29年9月27日 認定 )	環境分野
<input type="checkbox"/> 施設	団体名	山形県シェアリングネイチャー協会		<input type="checkbox"/> 地球温暖化対策
<input checked="" type="checkbox"/> 講座				<input type="checkbox"/> 省エネルギー
所在地	〒 997-0622 山形県鶴岡市大鳥字繁岡161 ( 連絡先 999-7652 山形県鶴岡市添川字宮田14-1 )			<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー
連絡先	TEL : 0235-64-3543			<input type="checkbox"/> 循環型社会形成
部署名 : 事務局長	FAX : 0235-64-3543			<input checked="" type="checkbox"/> 自然との共生
担当者名 : 加藤 耕	Email : <a href="mailto:bandori27@nifty.com">bandori27@nifty.com</a>			<input type="checkbox"/> 生活環境の保全
HPのURL :				<input type="checkbox"/> その他 ( )

## &lt;&lt; 事業の内容 &gt;&gt;

環境学習施設等事業 ・ 環境学習講座等事業		対象者
<b>ネイチャーゲームでの自然の体験活動</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 制限なし <input type="checkbox"/> 制限あり
提供している環境学習のポイント		
身近な自然を五感で感じ、自然を楽しみ、自然と遊び、自然から学ぶ喜びを知る		
内 容		
<p>・山形県シェアリングネイチャー協会や傘下の4つの地域の会（庄内、最上、村山、置賜）が年間計画に基づいて主催するネイチャーゲームの体験会に参加いただけます。</p> <p>・また、ネイチャーゲームの出前講座の依頼をいただければ、年間を通して講師を派遣しネイチャーゲームの提供ができます。学校やPTA行事、地域の子供会など、自然に関する特別な知識がなくても、豊かな自然の持つさまざまな表情を楽しむことが出来て、自然の不思議や仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気づくことができます。</p> <p>・現在、ネイチャーゲームアクティビティは、160種類以上あります。多種多様な活動を活かし、自然に関する知識や年齢に関係なく楽しむことができます。また、自然の中だけでなく、町中の公園や、学校の校庭でも手軽にできるのがネイチャーゲームの魅力の一つです。</p> <p>・ネイチャーゲームにはさまざまな効果があることを実体験していただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や環境への理解が深まります。</li> <li>・五感によるさまざまな自然体験が得られます。</li> <li>・自然の美しさや面白さを発見できます。</li> <li>・他者への思いやりや生命を大切に作る心が育ちます。</li> <li>・感受性が高まります。</li> </ul>		
見学可能日時	1回あたり受入れ可能人数	
	制限特になし	
	所要時間	
	応相談（60分から120分位）	
申込み方法	申込みの際の注意点	利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 有料 <input type="checkbox"/> 無料
事前予約 <input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 要 ( 日前まで )		ネイチャーゲーム実践にかかる教材代の実費
予約方法 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファックス <input checked="" type="checkbox"/> 電子メール <input type="checkbox"/> その他 ( )		

<p>専門スタッフ</p>	<p>氏名 白川 広之 所属・役職名 ネイチャーゲームトレーナー</p> <p>環境学習に関する主な経歴 山形県教員研修講師 リーダー養成講座主任講師</p>	<p>氏名 加藤 耕 所属・役職名 ネイチャーゲームインストラクター</p> <p>環境学習に関する主な経歴 リーダー養成講座講師</p>
<p>安全確保  (受入れに際し、 配慮していること)</p>	<p>ネイチャーゲームリーダー養成講座の修了生で構成する団体であり、養成講座の中で、全員が必須で危険予知プログラムを受講している。また、毎年のフォローアップ研修会でも安全確保については研修を積んでいる。</p>	
<p>実績</p>	<p>平成29年度の受入れ実績 延べ 35 団体 1,644 名</p> <p>・山形県シェアリングネイチャー協会として、平成29年度は出前講座の依頼を35件受け、講師を派遣した。参加人数は延べ1,644人であった。</p> <p>・毎年10月第3日曜日は、日本シェアリングネイチャー協会が主宰する全国一斉ネイチャーゲームの日として、県内各地でネイチャーゲームの体験会を開催している。庄内・最上・村山・置賜の4地域においても継続して実践している。</p> <p>・山形県が開催している森の感謝祭では、後援・協力団体としてブースを出展し、参加者に対してネイチャーゲームの体験活動を提供したり、ネイチャーゲームに関する情報を提供している。また、他の出展団体などと交流し情報交換する機会としている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>その他 参考事項</p>	<p>ネイチャーゲームの3つのキーワード</p> <p>自然への気づき……ネイチャーゲームの目的 さまざまな感覚で自然を感じ、心と体で直接自然を体験することによって、自然界のすべてのものがつながっており、自分もそのつながりの一部であることに気づくことです。</p> <p>わかちあい……指導員の心構え 大人が子どもに一方的に知識を教えるよりも、大人も子どもも、ともに自然を感じ、自然から得た体験や感動をわかちあおうという姿勢を大切にしています。わかちあうことによって、お互いの自然体験が、相乗的な教育効果を生み出します。</p> <p>フローラーニング……プログラムの考え方 参加者の心の状態や学習テーマに合わせて、個々のアクティビティを組み合わせる手法(フローラーニング)により、それらを組み合わせ、効果的な学習の流れをつくることができます。</p>	